

大連事務所だより

公益社団法人宮城県国際経済振興協会大連事務所
中国 116001 遼寧省大連市中山区人民路15号
国際金融大廈13層C

No.29 平成28年12月28日発行

目次

主な事業内容	1
事務所トピックス	1
中国現地情報	4
編集後記	4

問合せ先

TEL:86-411-8250-7426

FAX:86-411-8250-7439

E-mail:gb-dalian@miyagi-dalian.com

URL:http://miyagi-dalian.com

主な事業内容

9月から11月までに実施した主な事業を紹介します。

＝ 9月 ＝

○「北東アジア国際商品展覧会」参加(長春)

○「大連日本商品展覧会」参加(大連)

○「FBC 上海ものづくり商談会」参加(上海)

＝ 10月 ＝

○遼寧師範大学での交流事業開催(大連)

○山東省でのCA観光セミナー参加(青島ほか)

○「東京・北海道・東北広域観光セミナー商談会」
参加(上海、大連)

＝ 11月 ＝

○長春市内大学等での交流事業開催(長春)

○「天皇誕生日祝賀レセプション」参加(北京)

○營口、鞍山での観光セミナー参加(營口、鞍山)

また、上記のほか次のような活動を行いました。

○中国現地企業や関係機関等の訪問及び来所対応

○県内企業・団体等のニーズ調査や情報収集提供

○観光誘客のための資料翻訳や内容確認等の支援

○労務関係等セミナー参加

事務所トピックス

事業内容からトピックを9つ紹介します。

「北東アジア国際商品展覧会」参加

9月15日から19日までの5日間、長春市農業博覧園で開催された「北東アジア国際商品展覧会」に参加しました。

今年は、長春市郊外にある会場での開催となったので来場者数が心配されましたが、中秋節の初日を除き連日多くの来場者で賑わいを見せました。

仙台市と姉妹都市であり「仙台大街」の地名がある長春では、仙台の知名度が高いため、ブースでは仙台のポスターも掲示して観光パンフレットを配架しながら仙台・宮城をPRしました。



仙台・宮城のPRの様子

また、大連の宮城県企業が乾燥ワカメを販売したほか、企業の事業紹介パンフレットを配架しました。

来年は、宮城県と吉林省との友好県省30周年を迎えることから、これまでの両県省の友好の歴史なども紹介できればと考えています。

「大連日本商品展覧会」参加

9月23日から25日、大連世界博覧広場で開催された「第8回大連日本商品展覧会」に参加し、岩手県と共催で大連展示商談会を開催しました。

今年は、過去最高の212ブースの出展があり、3日間で前年を大幅に上回る54,000人(前年比+14,000人)の来場者で賑わいました。

今回出展した5つの宮城県企業のブースでは、中国側企業や来場者との商談や展示即売が行われました。また、大連で新たな事業化を進めようとする無農薬水耕栽培野菜、仙台市内にある画像検診クリニックでの検診をツアーの軸に宮城に誘客しようという医療ツーリズム、日本国産ゼオライト精製水を配合し健康な頭皮環境を作るシャンプーやコンディショナーなどの展示ブースなどで

は、来場者が足を止めて興味深そうに説明に耳を傾けていました。



無農薬水耕栽培の展示

事務所のブースでは宮城の観光PRのほか、伝統工芸品を展示して来場者アンケートを行いました。アンケートの結果については、今後の中国でのマーケティングに活かしていきたいと考えています。



宮城県の観光PRブース

「FBC2016 上海ものづくり商談会」参加

9月25日から27日までの3日間、上海国家会展中心で開催された「FBC2016 上海ものづくり商談会」に参加しました。

今回は、中国の国家級イベントである「CIAP（2016 中国国際自動車部品交易会）」との同時開催の効果もあり、会場には当商談会の出展企業に加え、中国、韓国、ドイツなどの海外企業など計 1,000 社の企業がブースを構え、来場者数は前年を大幅に上回る 24,900 人（前年比+7,300 人）となりました。当日は大型設備やロボットなどが展示され、多くの来場者の目をひきつけていました。県内の関連企業としては 11 社が参加し、来場した企業と商談が行われました。



商談会場内の様子

遼寧師範大学での交流事業開催

10月13日、遼寧師範大学で大学交流事業を開催し、日本語学科の大学生及び日本人留学生の計約 100 名に対して、宮城県の復興状況や多文化共生取組の説明ほか、県内の観光地を紹介しました。

多文化共生の取組の説明では、多言語による外国人相談センター開設などの宮城県の取組を紹介しました。現在、宮城県では 1 千人を超える中国人の留学生が学んでいますが、一人でも多くの留学希望学生に宮城県で学ぶ魅力を伝えていきたいと思ひます。



講演の様子

山東省での CA 観光セミナー参加

10月20日・21日、山東省の青島、烟台、威海で開催された観光セミナー（中国国際航空主催）に参加し、宮城をPRしました。

このセミナーは、中国国際航空が現地旅行社を集めて開催されたもので、セミナーでは、宮城の観光PR、中国国際航空からのPRそして現地旅行社による宮城への旅行商品の説明が行われました。

参加者の中には、毎年東北宮城に送客している旅

行社があり、仙台への直行便がないものの、上海、東京又は大阪経由での誘客をPRしたいと考えています。



宮城の観光紹介

「東京・北海道・東北広域連携観光セミナー商談会」参加

10月24日と26日、上海と大連で開催された「東京・北海道・東北広域連携観光セミナー商談会」に参加しました。

このセミナー商談会は、訪日先として人気があり、かつ今年3月に開通した北海道新幹線で繋がった東京や北海道と一緒に広域で観光ルートをPRするもので、昨年に引き続いて開催されたものです。両会場には合わせて67の旅行社から104名の参加がありました。



上海のセミナー会場

セミナーでは、個人やグループでの訪日旅行客が増えていることから、周遊に便利でお得なJREASTパスや東北地域内の高速バス乗り放題パス(新発売)などが紹介されました。

引き続いての現地旅行社との商談会では、観光地までの二次交通アクセスや、観光地でのどのような体験ができるかなど、具体的な質問に対する面談ができました。

長春市内大学等での交流事業開催

11月3日・4日、長春大学、同旅遊学院、長春理工大学及び山崎外語学校で交流事業を開催しました。

宮城を紹介する講演は、日本語学科の大学生が対象なので、聴講生の習得度に合わせて中国語の同時通訳を入れながら行いました。一方、山崎外国語学校では、来春4月から日本での留学が決まっている学生が対象だったことから、日本語のみで講演をしました。

なお山崎外国語学校では、聴講学生の中に仙台に留学する予定の学生がおり、宮城県と吉林省との新たな架け橋になって欲しいと思いました。



長春大学でのDVD上映

「天皇誕生日祝賀レセプション」参加

11月21日、北京の日本大使館で開催された「天皇誕生日祝賀レセプション」に参加し宮城をPRしました。

会場内は、85の日系企業や自治体ブースが設置され、中国政府ほか日中交流関係者など計1,200人の招待客で賑わいました。



ブースでのPRの様子

当事務所のブースでは、北京発着の宮城への旅行商品を造成いただいた北京市内の旅行社職員と一緒に、同旅行商品と合わせて宮城を紹介できたので、これまで以上に効果的なPRができたと感じました。

营口、鞍山での観光セミナー参加

11月23日・24日、大連市内の旅行社が主催する訪日旅行商品を紹介する観光セミナーに参加しました。

遼寧省营口市及び鞍山市で開催されたこのセミナーは、旅行社を対象としたもので、事務所では、東京、仙台滞在の旅行商品紹介に合わせて仙台、宮城の観光地をPRしました。



観光セミナーでのPR

今回、セミナーを主催した旅行社には、10月の「東京・北海道・東北広域連携観光セミナー商談会」参加後に宮城への旅行商品を造成いただきました。同様のセミナーは今後も省内各都市で開催される予定なので、PRの機会として積極的に参加したいと考えています。

中国現地情報

中国東北で最長の海底トンネル、海上橋着工

中国東北地方で最長となる全長 27 kmの海底トンネルと海上橋建設工事の年内着工が発表されました。

この工事は陸地部分を含め全長 27km に及び、大型国際クルーズ船が接岸する中山区東港地区から海上に造成される海上島まで 5.1km の海底トンネルを通り、島から開発区までは 9.9km の海上大橋で結ばれます。



大連市中心部を望む完成予想図

なお、今回の海底トンネル工事には、日本でも水深が浅い工事現場で使われるケーソンを海底に沈めてから土をかぶせる沈埋(ちんまい)工法が採用され、世界最大の幅のケーソンが使用されるとのことです。

工事完成は2020年の予定で、完成されれば大連市中心部から開発区までの距離が30km短くなるとともに、所要時間も30分以上の短縮が期待され、経済、観光など様々な交流がさらに活発になることが期待されます。

編集後記

大連にも寒い冬が到来しました。雪がほとんど降らないこともあり、乾燥した冷たい風が吹く真冬日の体感温度は昨シーズン記録したマイナス20℃に匹敵するほど。

それでも夜の公園はいつもながら賑やかです。中年女性グループを中心にしたダンスが始まります。さらにバックで流れる音楽は寒さを吹き飛ばすほどの大音量。

新旧の正月を迎える飾り付け作業も大通りを中心に街中で急ピッチで行われています。赤や黄色い光を放つ電飾は、寒い冬には暖かく感じるものです。

大陸の寒い冬も、賑やかな公園や電飾の光を暖にして乗り切りたいと思います。(DZ)

【みやぎフォトライブラリーから】

【定義如来西方寺】



「写真提供：宮城県観光課」

全長：800年の歴史がある仙台市北西部の山中にある寺

アクセス：仙台駅からバス約1時間